

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社
【英訳名】	WILSON LEARNING WORLDWIDE INC
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長CEO 森 捷三
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目10番6号
【電話番号】	03(6381)0234
【事務連絡者氏名】	執行役員グローバルコーポレート本部 本部長 梶本 知大
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目10番6号
【電話番号】	03(6381)0234
【事務連絡者氏名】	執行役員グローバルコーポレート本部 本部長 梶本 知大
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期 連結累計期間	第33期 第2四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	1,363,541	1,463,345	3,150,161
経常利益(千円)	57,104	92,226	299,638
四半期(当期)純利益(千円)	55,068	84,507	308,752
四半期包括利益又は包括利益(千円)	32,842	96,981	360,813
純資産額(千円)	1,216,983	1,746,596	1,544,955
総資産額(千円)	1,996,689	2,644,069	2,583,071
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	11.49	16.42	64.41
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	60.5	65.5	59.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	15,046	43,387	289,541
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	13,696	15,230	17,035
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	27,755	65,444	68,856
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	751,607	1,268,891	1,211,129

回次	第32期 第2四半期 連結会計期間	第33期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	10.69	17.55

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第32期第2四半期連結累計期間、第33期第2四半期連結累計期間及び第32期の潜在株式調整後1株当たり当期及び四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績

##### 業績の概要

当第2四半期連結累計期間は、海外事業の強化に対する投資、国内事業のソリューションビジネス展開に注力しました。事業は上期より下期に向け上昇して行く傾向にあります。当期は円安効果もあり増収、営業利益は海外子会社の人員増強、研究開発費等の先行投資を受け減益となりました。変化の激しい世界経済下にあります。ビジネスのグローバル化への対応は適切に行われています。

日本経済新聞社との資本提携も平成25年4月5日に第三者割当増資等（15%）が終了し、業務提携等の実務の展開に入っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高14億6千3百万円（対前年同期比7.3%増）、営業利益5千5百万円（対前年同期比23.7%減）、経常利益9千2百万円（対前年同期比61.5%増）となっております。また四半期純利益は8千4百万円（対前年同期比53.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (イ) 国内

大口取引先である自動車、金融業界からのビジネスは順調に推移し、ソリューション中心のマーケティング展開の効果が始めている段階であります。前年同期比で営業損失は減少していますが、力強さに欠ける状況下にあります。

この結果、売上高6億1千8百万円（対前年同期比2.5%増）、営業損失1千6百万円（対前年同期比46.1%減）となりました。

#### (ロ) 北米

前期の好業績を受け、人員増強を図っております。既存顧客からのライセンスビジネスは順調、新規大型案件の獲得に向け営業活動を強化しております。人員増強・研究開発等の販管費が先行し営業利益は減少しています。

この結果、売上高7億3千4百万円（対前年同期比12.1%増）、営業利益1千7百万円（対前年同期比64.4%減）となりました。

#### (ハ) 欧州

イギリス、フランスともに昨年度の大型案件が終了したものの、新規顧客からの受注分でカバーし増収となりました。

この結果、売上高1億9千2百万円（対前年同期比2.0%増）、営業利益1千5百万円（対前年同期比3.1%減）となりました。

#### (ニ) 中国

継続的な案件創出に注力した結果、既存のグローバル顧客に加え、現地の新規顧客からの受注が拡大し、増収増益となりました。

この結果、売上高1億4千万円（対前年同期比31.9%増）、営業利益3千9百万円（対前年同期比47.6%増）となりました。

#### (ホ) アジア・パシフィック

アジア地区はエージェントからの収入が増加したものの、オーストラリア、インドともに既顧客の案件が延期または減少したことにより、減収減益となりました。

この結果、売上高6千5百万円(対前年同期比15.0%減)、営業損失6百万円(前第2四半期連結累計期間は7百万円の営業利益)となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の計上、収入として株式発行による収入がありましたが、支出として前受金の減少、長期借入金の返済があり、前連結会計年度末に比べ5千7百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には、12億6千8百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果減少した資金は、4千3百万円(対前年同期比188.4%増)となりました。この主な理由は、税金等調整前四半期純利益9千8百万円の計上、減価償却費2千3百万円の計上、収入として売上債権の減少2千5百万円がありましたが、支出として前受金の減少6千7百万円、その他の負債の減少4千8百万円等があり、支出が収入を超過したことによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果増加した資金は、1千5百万円(対前年同期比11.2%増)となりました。この主な理由は、収入として投資事業組合分配金による収入1千9百万円等がありましたが、支出として有形固定資産の取得による支出8百万円等があったことによるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は、6千5百万円(前第2四半期連結累計期間は2千7百万円の減少)となりました。この主な理由は、収入として株式の発行による収入1億3百万円がありましたが、支出として長期借入金の返済による支出2千9百万円等があり、収入が支出を超過したことによるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は50,508千円となっております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,230,720
計	17,230,720

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,154,580	5,154,580	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	5,154,580	5,154,580	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	5,154,580	-	722,698	-	557,452

## ( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
森 捷三	東京都千代田区	906	17.58
株式会社日本経済新聞社	東京都千代田区大手町1丁目3-7	773	15.00
サンウッド株式会社	兵庫県神戸市東灘区西岡本2丁目7-2-1121	338	6.56
増田 利光	静岡県焼津市	257	4.99
株式会社ジャフコ	東京都千代田区大手町1丁目5-1	200	3.89
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6 日本生命証券管理部内	179	3.47
鈴木 茂三郎	福島県河沼郡柳津町	163	3.16
資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟	103	2.00
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	90	1.75
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	86	1.67
計	-	3,098	60.11

(注) 上記資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、103千株であります。

## ( 7 ) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,151,400	51,514	-
単元未満株式	普通株式 2,880	-	-
発行済株式総数	5,154,580	-	-
総株主の議決権	-	51,514	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、200株(議決権の数2個)含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社	東京都港区六本木一丁 目10-6	300	-	300	0.00
計	-	300	-	300	0.00

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,287,019	1,344,891
受取手形及び売掛金	539,946	529,050
たな卸資産	31,726	38,317
繰延税金資産	35,268	36,656
その他	45,559	69,937
貸倒引当金	29,261	28,122
流動資産合計	1,910,257	1,990,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	136,535	131,158
工具、器具及び備品(純額)	24,110	25,460
土地	60,725	60,725
リース資産(純額)	16,548	15,658
有形固定資産合計	237,918	233,001
無形固定資産		
ソフトウェア	4,935	3,387
リース資産	13,197	8,347
その他	785	785
無形固定資産合計	18,918	12,519
投資その他の資産		
投資有価証券	192,025	184,088
長期貸付金	17,384	18,635
繰延税金資産	433	508
敷金及び保証金	100,946	98,401
長期前払費用	105,205	105,105
その他	33,045	34,143
貸倒引当金	33,060	33,060
投資その他の資産合計	415,978	407,820
固定資産合計	672,814	653,340
資産合計	2,583,071	2,644,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	133,482	135,691
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	58,332	58,332
未払金	10,702	6,596
未払消費税等	16,705	11,026
リース債務	17,066	15,808
未払法人税等	8,442	9,040
賞与引当金	30,192	24,000
役員賞与引当金	-	3,665
繰延税金負債	664	-
未払費用	173,711	144,467
前受金	194,211	132,888
その他	19,569	14,804
流動負債合計	813,076	706,317
<b>固定負債</b>		
長期借入金	91,668	62,502
リース債務	16,425	11,399
資産除去債務	49,153	50,260
繰延税金負債	52,783	52,450
退職給付引当金	5,082	5,204
その他	9,929	9,341
固定負債合計	225,040	191,156
<b>負債合計</b>	<b>1,038,116</b>	<b>897,473</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	670,368	722,698
資本剰余金	505,122	557,452
利益剰余金	161,266	245,773
自己株式	156	156
株主資本合計	1,336,600	1,525,767
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	3,337	3,598
為替換算調整勘定	191,235	203,632
その他の包括利益累計額合計	194,572	207,230
少数株主持分	13,783	13,599
純資産合計	1,544,955	1,746,596
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,583,071</b>	<b>2,644,069</b>

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,363,541	1,463,345
売上原価	447,391	481,268
売上総利益	916,150	982,077
販売費及び一般管理費	843,967	927,029
営業利益	72,183	55,048
営業外収益		
受取利息	861	788
受取手数料	6,000	6,000
受取配当金	1,000	1,000
賃貸料収入	454	616
為替差益	-	24,322
投資事業組合運用益	-	10,876
雑収入	2,737	1,169
営業外収益合計	11,052	44,771
営業外費用		
支払利息	2,174	3,001
減価償却費	3,660	360
賃貸収入原価	454	616
為替差損	17,191	-
投資事業組合運用損	1,556	-
持分法による投資損失	-	1,889
雑損失	1,096	1,727
営業外費用合計	26,131	7,593
経常利益	57,104	92,226
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,531
受取和解金	-	5,194
新株予約権戻入益	4,620	-
特別利益合計	4,620	6,725
税金等調整前四半期純利益	61,724	98,951
法人税、住民税及び事業税	12,522	15,825
法人税等調整額	1,949	1,197
法人税等合計	10,573	14,628
少数株主損益調整前四半期純利益	51,151	84,323
少数株主損失( )	3,917	184
四半期純利益	55,068	84,507

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	51,151	84,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,461	261
為替換算調整勘定	18,465	12,397
持分法適用会社に対する持分相当額	1,305	-
その他の包括利益合計	18,309	12,658
四半期包括利益	32,842	96,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,759	97,165
少数株主に係る四半期包括利益	3,917	184

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	61,724	98,951
減価償却費	25,409	23,588
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,032	2,252
役員賞与引当金の増減額(は減少)	2,822	3,665
賞与引当金の増減額(は減少)	23,940	7,019
受取利息及び受取配当金	1,861	1,788
支払利息	2,174	3,001
持分法による投資損益(は益)	-	1,889
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	-	1,531
受取和解金	-	5,194
投資事業組合運用損益(は益)	1,556	10,876
新株予約権戻入益	4,620	-
売上債権の増減額(は増加)	76,297	25,521
たな卸資産の増減額(は増加)	5,518	5,682
その他の資産の増減額(は増加)	5,387	23,972
仕入債務の増減額(は減少)	49,152	737
前受金の増減額(は減少)	75,714	67,604
未払金の増減額(は減少)	437	4,106
その他の負債の増減額(は減少)	15,430	48,193
その他	5,718	10,364
小計	3,261	32,703
利息及び配当金の受取額	1,788	1,203
利息の支払額	1,781	3,095
和解金の受取額	-	5,194
法人税等の支払額	12,002	14,269
法人税等の還付額	210	283
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,046	43,387
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	3,700	13,160
定期預金の払戻による収入	15,180	13,160
投資有価証券の売却による収入	-	1,750
投資事業組合分配金による収入	6,300	19,000
有形固定資産の取得による支出	5,800	8,130
ソフトウェアの取得による支出	39	-
資産除去債務の履行による支出	1,481	1,136
敷金及び保証金の差入による支出	2	1,646
敷金及び保証金の回収による収入	3,141	5,192
貸付けによる支出	800	-
貸付金の回収による収入	897	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,696	15,230

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	19,200	29,166
株式の発行による収入	-	103,858
リース債務の返済による支出	8,535	9,248
自己株式の取得による支出	20	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,755	65,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,926	20,475
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	48,031	57,762
現金及び現金同等物の期首残高	799,638	1,211,129
現金及び現金同等物の四半期末残高	751,607	1,268,891

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
研修材料	7,040千円	6,341千円
仕掛品	23,125	30,691
貯蔵品	1,561	1,285

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目と金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	377,625千円	409,485千円
賞与引当金繰入額	25,971	25,061
役員賞与引当金繰入額	4,297	3,665
貸倒引当金繰入額	1,998	2,568

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	811,874千円	1,344,891千円
預入期間が3か月を超える定期預金及び担保預金	60,267	76,000
現金及び現金同等物	751,607	1,268,891

(株主資本等関係)

当社は、平成25年4月5日付で、株式会社日本経済新聞社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ52,330千円増加し、当第2四半期連結累計会計期間末において資本金が722,698千円、資本準備金が557,452千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内	北米	欧州	中国	アジア・パシフィック	合計
売上高						
外部顧客への売上高	508,959	541,827	148,104	98,876	65,775	1,363,541
セグメント間の内部売上高又は振替高	95,055	113,369	40,571	7,967	11,867	268,829
計	604,014	655,196	188,675	106,843	77,642	1,632,370
セグメント利益又は損失( )	30,390	50,391	16,213	26,479	7,836	70,529



2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	70,529
セグメント間取引消去	1,654
四半期連結損益計算書の営業利益	72,183

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内	北米	欧州	中国	アジア・パシフィック	合計
売上高						
外部顧客への売上高	525,898	593,063	161,290	121,970	61,124	1,463,345
セグメント間の内部売上高又は振替高	93,087	141,130	31,194	19,006	4,848	289,265
計	618,985	734,193	192,484	140,976	65,972	1,752,610
セグメント利益又は損失( )	16,382	17,954	15,714	39,083	6,053	50,316

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	50,316
セグメント間取引消去	4,732
四半期連結損益計算書の営業利益	55,048

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円49銭	16円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	55,068	84,507
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	55,068	84,507
普通株式の期中平均株式数(株)	4,793,380	5,146,326

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

**第二部【提出会社の保証会社等の情報】**

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 浅野 俊治 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 栗原 幸夫 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。